

新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 24-095	
研究課題名	救急医療機関における自傷・自殺未遂レジストリの運用およびデータ活用
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	医療におけるレジストリとは「特定の疾患などに関する情報の収集を目的とし構築されたデータベース」のことです。「自傷・自殺未遂レジストリ」では、自傷・未遂により救急医療機関に搬送された方の情報を収集します。自傷・自殺未遂は自殺の重要なリスク因子であり、その実態を把握することは、世界保健機関(WHO)からも推奨されています。本研究は、我が国で初めての全国規模で自傷・自殺未遂者の方々のデータを収集するもので、それらの方々の実態や診療状況などを調査し、その後の対策に活用することで、再度の自傷・自殺行為の防止や、自傷・自殺未遂者の方々に対する適切な対応などを検討することを目的とし、それにより医療の質的向上と有効な自殺対策の確立を目指します。
利用または提供する情報の項目	診療録に記載された医療情報、自傷・自殺未遂歴を含むこれまでの状況に関する情報、家族や生活などの情報を、個人を特定出来ないように情報加工した上で収集します。
対象者及び対象期間	2025年4月から救急搬送された患者さん
利用の範囲	このレジストリは、一般社団法人日本臨床救急医学会、一般社団法人いのちを支える自殺対策推進センターが共同で管理・運用し、本研究に参加する医療機関等が研究に利用します。
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟市民病院救命救急・循環器病・脳卒中センター長 廣瀬保夫
問い合わせ先	新潟市民病院救命救急・循環器病・脳卒中センター長 廣瀬保夫 〒950-1197 新潟市中央区鐘木 463 番地 7 電話番号 025-281-5151(代表)
研究代表機関	厚生労働大臣指定法人・一般社団法人 いのち支える自殺対策推進センター
備考	